

▶ 特例的に実施する環境アセスメントの手続 ◀

今回の地下化※は、現在（令和元年）、東京都環境影響評価条例の対象とはなっていませんが、平成30年12月の条例改正の内容を踏まえると、令和3年1月の改正条例の該当規定の施行後は、対象事業となる予定です。このことから、都市計画手続に合わせ、条例の規定を参考として特例的に環境アセスメント手続を実施し、環境に及ぼす影響を予測評価します。

※車線数の増加がない区間の長さが1km以上の道路の地下化

▶ 環境影響評価項目の選定 ◀

対象事業の実施により、環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響評価の項目として、事業計画の内容や地域の環境特性を踏まえ、下表に○が付いている10項目を選定しました。

■ 選定した環境影響評価項目

環境影響評価の項目		環境影響要因																	
		大気汚染	悪臭	騒音・振動	水質汚濁	土壌汚染	地盤	地形・地質	水循環	生物・生態系	日影	電波障害	風環境	景観	史跡・文化財	自然との触れ合い活動の場	廃棄物	温室効果ガス	
工事の 施行中	施設の建設					○	○		○						○			○	
	建設機械の稼働	○		○	○				○										
	工事用車両の走行	○		○															
工事の 完了後	施設の存在						○		○					○					
	自動車の走行	○		○															
	換気所の存在及び供用	○		○										○					

▶ 計画交通量等 ◀

計画交通量

予測評価には、下表に示す計画交通量を用いました。

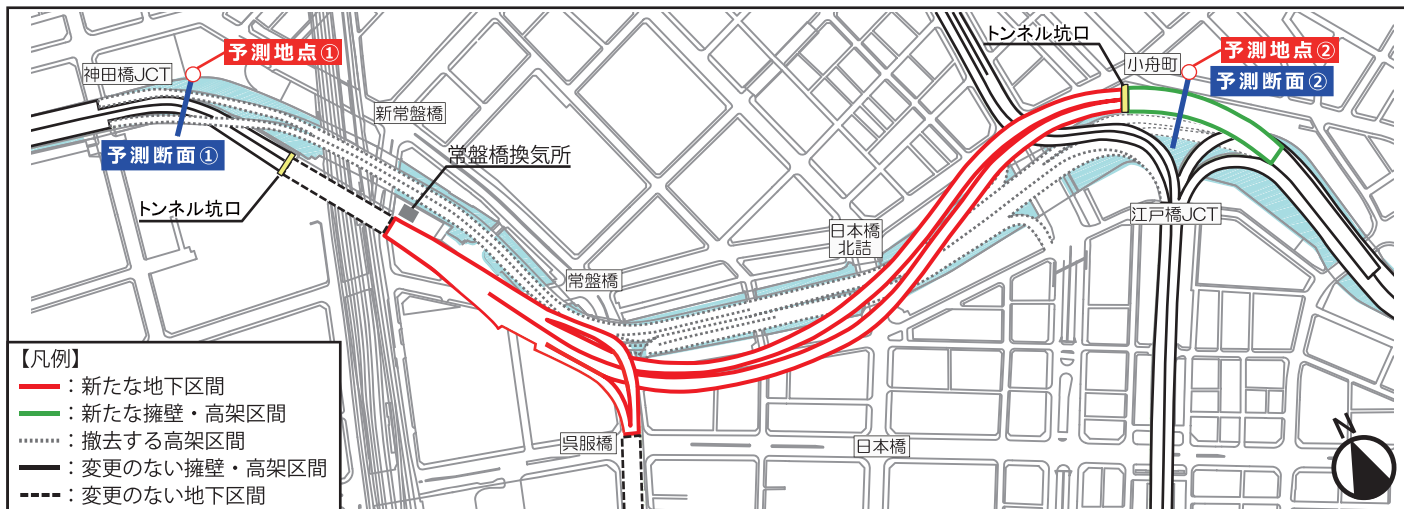
なお、右図に示すとおり、現況においては箱崎JCTからの渋滞により、都心環状線をご利用になる方の円滑な交通に支障が生じています。本事業において江戸橋JCTの都心環状線連結路を整備しないことで、都心環状線をご利用になる方は、八重洲線を活用し、渋滞が回避され、江戸橋JCTへの負荷も軽減されます。

■ 計画交通量

路線	交通量（台/日）	
	外回り（上り）	内回り（下り）
都心環状線（西側坑口）	53,700	63,300
都心環状線（東側坑口）	40,400	47,500
1号上野線	21,200	14,000
6号向島線	25,000	28,000

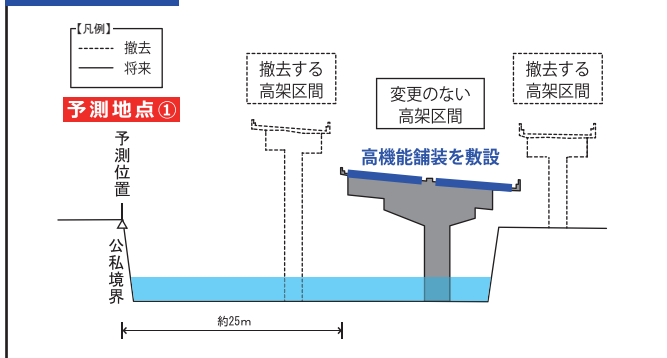
▶ 予測地点（大気汚染、騒音、振動）◀

予測地点位置図

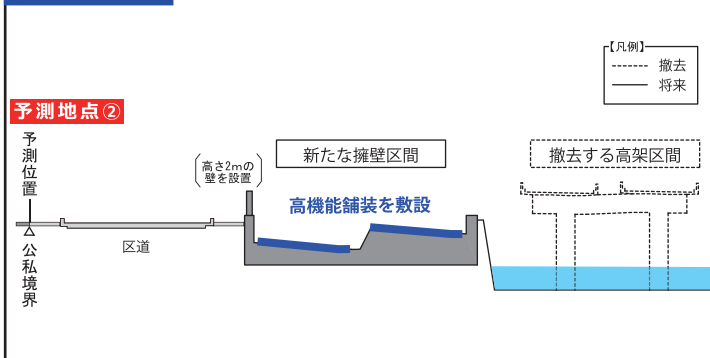


予測断面図

予測断面①



予測断面②



江戸橋 JCT 周辺の交通状況の改善

